



和泉市議会議員

たおだ(埜田)英伸

E-mail : kansai-genki@gaia.eonet.ne.jp

和泉市議会議員・**たおだ(埜田)英伸**です。2022年は皆様に支えられ、助けて頂きながら議員としての活動を前進させることが出来ました。さらに2023年もまた、変わらぬご声援をよろしく願いいたします。多くの進展・解決・実現ができ、相談者・町会関係者・市職員・施行(施工)者の4者ありての実績に感謝です。今回の活動報告は、魂を込めて心の奥底から訴えた『認知症の方々に活躍の場の創出に向けて(表面)』と『庁舎内ウェディング(公共施設)およびイベント開催に向けて(裏面)』の2項目を報告します。

最後まで残る自己実現の思い！認知症の方々に活躍の場の創出を！

～2022年9月27日 第3回定例会 一般質問で訴えました！～

私が高齢者デイサービス責任者として勤務していた時、認知症の女性の利用申し込みがありました。「自分は元気で何もおかしくない。なぜ私がこんな所にいるのか!？」と大声で怒り出したが、部下がその方が過去に手芸の仕事をしていたことを知り「**地域のためにマフラーを編んでくれませんか?**」とお願いすると機嫌よく編み始めてくれた。

その方が亡くなるまでの2年間、永遠にマフラーを編んでくれ、多数の保育園児にプレゼントしました。現在20代のあの子供たちの一人でもマフラーを持っていたら、魂は今でもマフラーの形で生きていることになります。



人は誰でも自己実現の欲求があります。私が介護福祉士時代、よく見た光景があります。老人ホーム内で大量に出来あがった洗濯物を10人ぐらいの入居者さんが座っているテーブルの上に広げたら、『**待ってました**』と、奪い合いながら洗濯たたみを手伝ってくれました。毎回の食事で、同じ入居者さんの食べ終わった御膳を職員と一緒に下膳する入居者さんもいました。折り込みチラシを折紙にして、小さなゴミ箱を年間1000個作ってくれた人に『**うちのホームにそんなにゴミないですわ**』と一緒に大笑いしたこともありました。このエピソードの方々は全員、認知症です。認知症になり短期記憶力が低下し、今朝のゴハンは何を食べたか分からない、今日の曜日が分からない、今は春夏秋冬いずれか分からない、息子さんの名前も思い出せない、そんな方々もいました。しかし最後の最後まで『**何かお役に立ちたい**』『**私も手伝いたい**』という自己実現の欲求は心奥に厳然と残っていることを若き日の介護福祉士時代に学び、人としての貴重な財産となっています。

和泉市が高齢者福祉施策の先進都市になるために！

認知症の方々が町の清掃活動やボランティア活動に参加することも出来るはずですが。独居高齢者の生活サポートをする『おたがいさまサポーター事業』は和泉市独自の福祉施策です。ボランティアがゴミ出し支援や庭の簡単な手入れなどを行うのですが、そのボランティアの方と認知症の当事者の方が一緒にコンビで活動するような形が出来るはずですが。例えば介護認定における要介護度1の方が二人いるとします。一人は、身体的理由で介護度1・もう一方の方は認知症が要因の介護度1という場合、身体的理由の要介護1の方でゴミ出しが困難の方がいます。しかし認知症が要因の要介護1の方は歩行がスムーズな方が多くいます。ただ、依頼に一人での対応が困難かも知れないので、ボランティアさんと一緒に出向する形です。



“**助けられていた側が助ける側になる**”ことで潜在能力や残存機能が覚醒し、元気になる方々もケアマネジャー時代に、たくさん見てきた。おたがいさまサポーターのボランティアに認知症の方が登録されるような高度な高齢者福祉施策を和泉市が先進的に実行するために、さらに私自身も研究し、『**この街で生きてよかった**』と最後まで感じる事が出来る仕組みを創ります。

結婚式を挙げられなかった二人の幼なじみと私の物語

私には20歳で結婚した2人の幼なじみがいる。幼なじみ同士の二人が婚約した時は本当に嬉しかった。しかし、彼女の家系に関して、彼側の親族から結婚を猛反対され、二人して私の前で悔し涙を流していた。反対を押し切って結婚することを決めた二人は結婚式を挙げることをあきらめた。人間として、そんな仕打ちを受けている二人を見て「こんな社会を絶対変えてみせる」と怒りがこみ上げた。親族から祝われない結婚を決めた二人に私達幼なじみは「俺たちだけの結婚式を挙げよう」と提案した。当時、二人も私たちもお金がなかったので、手作り料理と手作り飾り付けのみで結婚式をとり行い、二人が本当に喜んでくれたことは今でも金の思い出になっている。しかしその後、私をはじめ他の同級生たちの結婚式を見た二人は『あの時、小さな会場でもいいから、借金してでも結婚式を挙げればよかった』とよく言った。彼のその言葉がずっと心に残っている私は“結婚式を挙げない”と言っているカップルに『大きなお世話かも知れないが、小さくてもいいから挙式はやった方がいいよ』とアドバイスするお節介クセがついてしまった。何らかの事情で結婚式が挙げられない人にささやかながら幸せを感じてもらいたい！また近年、変わった場所でのウェディングを選択するカップルが急増している！ そんな思いから……



俺たちだけの結婚式

議会で提案『公共施設ウェディングの実現に向けて』

～あわせて、庁舎内ミニコンサート・パラコレファッションショー・屋上庭園パーティ等の実現も～

庁舎内結婚式を可能にしている自治体がある。新郎新婦二人だけの方もいる。何らかの事情で二人だけで結婚式を挙げる方にとって、見知らぬ市民の方々から『おめでとう』『お幸せに』という声かけに涙するカップルもいるという。その涙の理由は二人にしか分からない。和泉市としても新庁舎だからこそそのメリットを生かし、そのような取り組みをぜひ検討して頂きたい。現在、有名な和風建築の場所でウェディングフォトを撮影することも流行しているので、新庁舎にとどまらず、久保惣美術館での和装等での挙式やウェディングフォト撮影を可能にして頂きたい。挙式可能な美術館は、徳島の大塚美術館、箱根ガラスの森美術館、軽井沢ニューアート美術館などがある。また、庁舎内コンサートや障がい者ファッションショー(パラコレ)や屋上庭園パーティ等も可能にして頂きたい。

庁舎ウェディング 庁舎ウェディングフォト撮影。

久保惣美術館での結婚式&フォト撮影 その他の庁舎イベント

この4項目の提案に対して、市より前向きな姿勢の回答を頂きました！！

和泉に思いやりの和を広げます 和泉市議会議員・たおだ英伸

議員在任 815 日目(12月17日現在) 4 6 項目の政策展開と 3 5 7 件の実現・解決・進展事例

☆市民相談&要望を受けて議会で訴えて進めている政策取り組み・・・4 4 項目

☆市民相談&要望を受けてのハード面・個人相談の実績 実現&解決 344件

『信号・路面標示・看板・標識・道路舗装・街灯(防犯灯)などの交通安全対策・生活安全対策』……………100カ所
『学校修繕・公園整備・バリアフリー対策・通行の妨げの雑草除去などへの環境整備対策』……………65カ所
『個人相談の解決&実現&進展』……………192件



毎朝(土日は昼間)
6ヶ所の交差点のどこかで
皆様の相談・要望を
聴くために**本人**タスキを
つけて立っています

〈たおだ(埴田)英伸 プロフィール〉

☆広島市出身の父・長崎県壱岐島出身の母。1974年誕生(次男)。兄一人
☆堺市立深井西小学校出身(1期生・5年生まで向ヶ丘小学校で分離1期生)
☆堺市立上野芝中学校出身(陸上部・走り幅跳びと3種競技が専門)
☆大阪府立泉北高校出身(ラグビー部・No.15 FB フルバック)
☆中京大学体育学部出身(ラグビー部・No.11 WTB 左ウイング)
☆2000年 和泉市箕形町の妻(高校同級生)と結婚で和泉市移住
※2001年～‘13年のぞみ野2丁目マンション、’13年以降は緑ヶ丘在住
☆介護現場スタッフとして勤務(介護福祉士・ケアマネジャー)
※大卒後、介護現場で勤務後に全国デイサービス事例研究所を創立。
介護事業アドバイザーで全国展開。独自理論で全国1600施設の改善に成功。(2009年開業、和泉市議選当選後に引退・閉業・議員に専念)
☆2020年9月 和泉市議会議員初当選(多大なご支援に感謝)
☆48歳(心は18歳) 家族…妻・息子3人(21歳・19歳・15歳)・義母(75歳)

ホームページが完成！

QRコード読み取り →

